

両国まちあるき瓦版基漆

～ぐりり、めぐりり、ごくり、きらり、びっくり、やはり、りようごく～

★そのとき両国は、歴史の舞台になりました！

両国・本所松坂町（現在の両国三丁目付近）は、赤穂義士による吉良邸討ち入り事件で知られる歴史の舞台です。今回は、実は葛飾北斎とも関係のあるこの事件を中心に紹介していきます。



○葛飾北斎と忠臣蔵

葛飾北斎の母親は、吉良上野介に仕えた武士である小林平八郎の孫であったことが伝わっている。二刀流の使い手で鬼と言われた小林だったが、赤穂義士たちの吉良邸討ち入りで、吉良を守るために奮闘の末、討ち死にしてしまう。のちに北斎が描いた“北斎忠臣蔵”では、二刀流で勇ましく戦う吉良方の武士が登場する。もしかすると、この勇ましい武士は、北斎の曾祖父・小林平八郎なのかも！

○吉良祭・元禄市（12/13, 14）

吉良上野介と家臣の供養、食料品等の出店、甘酒サービス（甘酒は、13日午後のみ、無くなり次第終了）@本所松坂町公園（両日とも午前9時から午後5時まで）

○義士茶会（12/7）

忠臣蔵ゆかりの流派“宗へん流”による湯茶接待@回向院2階和室（午前11時から午後3時半まで ※30分前受付終了）

○義士祭（12/14）

関係者による供養、甘酒サービス（無くなり次第終了）@本所松坂町公園（午前10時半から11時半まで）

○大高源五句碑

四十七士の一人で、討ち入りを決定する重要な情報を入手したと言われる大高源五の句碑。（両国1-11-2）

“日の恩や
忽ちくどく
厚氷”

○吉良邸跡（本所松坂町公園）

現在の両国三丁目には、かつて吉良家上屋敷があった。その敷地は、約8,500㎡にのぼる広大なもの。吉良がこの屋敷を拝領したのは、元禄14年（1701年）9月のこと。そして、義士の討ち入りがあり没収されたのが元禄16年2月と、僅か1年半にも満たない期間であった。現在、“吉良邸跡”として残るのは、当時の1/86ではあるものの、昭和9年（1934年）に両国三丁目町会有志が發起人になり、邸内の“吉良公御首級洗い井戸”を中心に土地を購入し、東京市に寄付されたものである。（後に区に移管。）都指定旧跡。

○刀剣博物館企画展

12/21まで“受贈記念 受け継がれる日本刀-鈴木莊一コレクションを中心に-”開催中！（※忠臣蔵に直接関係する展示ではありません。）

○赤穂事件と忠臣蔵

赤穂事件とは、元禄14年（1701年）4月21日に、江戸城内の松の廊下で、発生した吉良上野介に対する刃傷事件の結果下された加害者である赤穂藩主・浅野内匠頭に対する処分（即日切腹、藩没収）に対し、これを不服とした赤穂藩の家臣たちが起こした一連の事件のこと。

その赤穂事件をもとにした創作作品に付けられた名称が“忠臣蔵”であり、歌舞伎、演劇、映画、テレビドラマなどの題材となり、今なおその人気は衰えをみせない。

○吉良上野介義央

江戸時代前期から中期の幕府において朝廷関係の儀式典礼を司る者の上席者である高家肝煎（こうけぎもいり）吉良家の当主。忠臣蔵では悪人として描かれるが、現在では多角的に評価されている。

お膝元である両国では、今でも吉良様びいきが多く、また領地のあった現在の愛知県西尾市吉良町でも、治水事業などを行なった名君として慕われている。

なお、本所松坂町公園内の吉良邸跡には、吉良公の座像が設置されている。



○忠臣蔵ゆかりの高札

まちあるき
で、探そう！

2023年度“すみだモダン”ブランド認証商品を製造し“すみだSDGsアワード”も受賞している株式会社ADP（亀沢2-15-9）による誠忠義士伝 赤穂四十七士Tシャツ“RONIN47”も要チェック！



★幻想的なイルミネーションの季節です！

●SUMIDA光のナイトガーデン

“江戸を感じる光の情景”（11/21-12/28）
今年も期間を延長して開催されます。（16時半から20時まで）初日である11月21日は、16時30分から点灯式が行われ、本庭園とゆかりの深い安田学園吹奏楽部による演奏や、区内事業者による人気のキッチンカー出店などを予定しています。



さらに…次号瓦版での続報をお待ちください！

●国技館通りイルミネーション2025（11/29-2/7）

今年も国技館通り商店会主催で、11月29日から2月7日まで銀杏並木がイルミネーションで彩られます。周辺施設でも併せて実施される予定です。果たして、今年は何色でしょうか！？（午後5時から11時まで）

●JR両国駅ライトアップ

1929年（昭和4年）築の洋風建築である両国駅舎が12月1日から5月31日まで今年もライトアップされます！（午後5時から11時まで）
また、両国ステーションギャラリー（3番線臨時ホーム入口通路）が、煌びやかなイルミネーションでライトアップされる“WINTER FANTASY”が、12月1日から2月15日まで開催されます。（午後5時から終電まで。なお、12月17日から22日までと1月29日から2月1日までの期間は、開催しません。）

11月22日と24日に、
“-両国→江戸NOREN開業
9周年イベント”開催！



★吉良邸近くで150年！

墨田区立両国小学校（両国4-26-6）は、明治8年（1875年）創立。都内屈指の伝統校が150周年を迎えました。相生尋常小学校、江東（えひがし）小学校などの時代を経て、昭和26年（1951年）に現校名になりました。10月12日には、在校生・卒業生・保護者を対象とした“両小150祭！”が、18日には記念式典・祝賀会が開催されました。敷地内には、卒業生である芥川龍之介の“杜子春”の一節が刻まれた文学碑もあります。



★吉良邸つながりの名店です！



墨田区銘品名店会から、ご紹介します。明治2年（1869年）に開業。特選北海道小豆の小倉あんと白インゲンをこした白あんから選べる“隅田川もなか”や、きな粉あんが入った“忠臣蔵の吉良まんじゅう”が有名です。元禄市で年に一度、限定販売される“松坂もち”など、季節感を演出した生菓子も大変好評です！（両国大川屋 墨田区両国3-7-5）



☆紙面で紹介した具体的な場所などについては、お得な特典付“両国にぎあいMAP”を参照してください。印刷したMAPは、両国観光案内所などで配布しています。

墨田区観光協会が企画する

“忠臣蔵ゆかりの両国を歩く”ツアー &
“赤穂義士引き揚げコースを歩く”ツアー



☆江戸博では、リニューアル工事中も、さまざまな催しなどを実施しています。国際ファッションセンター1階ショーウィンドーでの展示も開始しました！

エドハク
リニューアルオープンまで、
あと、4か月くらい

■両国まちあるき瓦版_其の漆（Vol.7_2025.11）

☆その他の両国まちあるき情報や

■発行・問合せ：墨田区産業観光部観光課

バックナンバーなどは、こちらに掲載しています↓

KANKOU@city.sumida.lg.jp / 03-5608-6500

■協力：墨田区観光協会/両国協力会/墨田区銘品名店会

